

平成28年度一般公開(オープンラボ)について

毎年恒例の国水研一般公開を、7月23日(土)に開催いたしました。小学生以下のお子様から80代の方々まで、268名の方においでいただきました。ご来場、誠にありがとうございました。

*今年度の企画についてご紹介します

「Do you 脳? ~脳の活性化には、脳のどこをどう鍛えるのか、知っていますか?」



子どもから高齢者まで多くの方々が楽しみながら脳力トレーニングを体験されました。結果はそれぞれでしたが、皆さん大変満足された様子でした。

「みなまた水族館 ~見て、さわって、楽しもう~」



今回、関係者のご協力をいただき、リユース食器に盛った軽食やリユースびんを使った清涼飲料の提供などにより、ごみをなるべく出さないよう取り組みました。



みなまた水族館のタッチプールは、今年も子供達に大人気。ヒトデやナマコなど普段見ることがない生き物を、夢中でさわって、楽しんでいました。

「氷と塩を使って、ジュースからシャーベットを作ろう！」



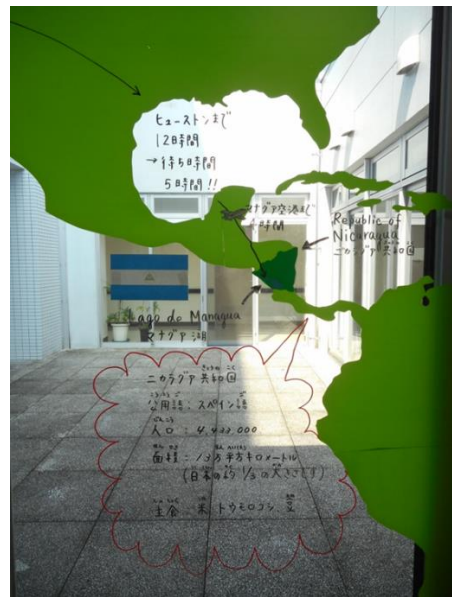
小さいお子さんからご年配の方まで、皆さん美味しく楽しんで頂けたようです。

「リハビリ(作業療法)体験と健康チェック」



初めて取り入れたデコパーージュ(和紙に写した好きな絵を専用の液で布に接着する工芸)でしたが、お屋前に材料がなくなってしまうほどの人気でした。楽しかった・難しかったなど思い思いに作品作りができたのではないのでしょうか。

「中米ニカラグア紹介」



日本とアメリカの地図を窓に配し、ニカラグアの場所を示した画像です。中米ニカラグアは、地理的には日本から遠くに位置していますが、水銀は全世界を循環します。遠い国の問題ではなく、身近な事として、ニカラグアでの水銀汚染の実態と水銀分析技術の移転について、コラージュ写真を用いたポスターで学習しました。

「リサイクルで自由研究！～古くなった紙で〇〇を作ってみよう～」



牛乳パックから手漉きハガキとコースターを作成しました。使用済み紙製品から紙が再生する過程を実際に体験してもらい、3Rの「リサイクル」にあたる概念を学習しました。

「真夏だけど、クリスマスツリーをつくろう！」



自分たちがフェルトで作ったツリーにある液体をかけると、白い雪の結晶が現れるという実験です。液体が気体になるときの気化熱による温度低下を利用してしています。フェルトに白い結晶が現れて段々と増えていく様子や触ってみるとすごく冷たくなっていることに子供も大人もびっくりしていました。

「キッチンで実験！ ～「さとう」と「しお」をつかってやってみよう～」



普段台所にある砂糖と塩を使って、実験をしました。どんな結果になるのか、じっと見守って…。

これら以外の、国水研紹介、国水研からのオーシャンビュー、クイズラリーといった企画や、カレー、パン、ジュースなどの飲食コーナーも盛況でした。

アンケートでは、「楽しく参加できた」「自由研究の参考になった」「自然保護や環境に対する再認識ができた」「来年もまた来たい」といった嬉しいお言葉もいただきました。

今年ご来場いただいた方はもちろんのこと、残念ながらおいでいただけなかった方も、ぜひ来年お待ちしております！

